

# 30年度 学校経営計画

## Mission

- 全職員が協働して、**子供を成長させる。**
- 「**西小と西小での日々**」を子ども達の心に残るものにする。

### 1 学校経営の基本構想

子供・教職員・保護者・地域のみなで「**楽しい西小**」をつくる。

- 子供たちにとって「**今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校**」
- 保護者・地域から「**信頼される学校**」
- 教職員が「**勤務できる喜びを感じられる学校**」

### 2 学校教育目標

心豊かでたくましい子どもの育成

- 進んで学習する子ども (かしこく)
- 親切で助け合う子ども (やさしく)
- 健康でたくましい子ども (たくましく)

### 3 めざす児童像

学校教育目標(具体目標)	めざす児童像
進んで学習する子ども (かしこく)	・ <b>主体的に授業に臨む子供</b> (積極的に挙手をし、自ら考え、判断し、豊かに表現できる)
親切で助け合う子ども (やさしく)	・ <b>認めあい、励ましあい、協力できる子供</b> (友だちのよさを認め、互いに励ましあい、協力し合うことができる)
健康でたくましい子ども (たくましく)	・ <b>進んで運動し、元気にあいさつできる子供</b> (体を動かす楽しさを感じることができる) ( <b>物怖じせずに、明るく元気に誰にでもあいさつできる</b> )

### 4 めざす教師像

- ① **授業力・学級経営力**のある教師
- ② 教育的愛情と使命感をもった教師
- ③ 人間性豊かで信頼される教師

## 5 学校経営の基本方針

- ・児童の実態と保護者の願い及び地域の特質を踏まえた特色ある教育課程編成と実施
- ・家庭や地域(人材・施設)との連携及び外部人材の活用(開かれた教育課程)
- ・小規模校としての強みを生かす。
- ・国・県及び下野市の方針を踏まえる。

## 6 本年度学校経営の重点 ( )内は、関連する「めざす児童像」

### 【 教育活動に関する重点事項 】

#### (1)「楽しい・わかる」授業の展開 (★主体的に授業に臨む子供)

##### ①工夫された基礎・基本の指導と定着

- ア 授業の目標(めあて・ねらい)を子供と共有
- イ 授業を「振り返る活動」を確実に実施
- ウ 「自分の考えを書く」場を適切に設定

##### ②教材研究とそれによる主体的・協働的な学習の実現

- ア 子供一人ひとりに「できた喜び」「学ぶ喜び」を感じさせられる指導の工夫
- イ 知識や技能を活用して、子供達一人ひとりが主体的・協働的な学習を深めあっている学習場面(話し合いの場や表現活動の場、他)を日常の活動で積極的に設定

##### ③家庭学習習慣定着のための指導

家庭学習習慣をつけることで、基礎・基本を定着させるとともに学力向上につなげる。

#### (2)認める・ほめる指導の徹底 (★認めあい、励ましあい、協力できる子供)

- ①教師が、子供一人ひとりの存在を認める姿勢を基盤にもつ。
- ②当たり前のことを一生懸命やっている子供を認める・ほめることの徹底
- ③認めるだけでなく、励まし合う、協力し合う姿勢への発展を考えた指導

#### (3)あいさつ指導の徹底 (★進んで運動し、元気にあいさつできる子供)

小規模校であるが(小規模校だからこそ)、「物怖じせずに明るく元気に誰にでもあいさつできる子供」を育てる。そのために、下記の2つに力を入れる。

- ①「止まって・顔を見て、元気に」あいさつする指導の徹底
- ②地域の方・来校者へのあうさつの徹底

#### (4)行事で感動や充実感を味わわせることを通して子どもを成長させる (★「めざす児童像」3つに関連)

再編に関する諸行事において感動や充実感を味わわせることを通して子どもを成長させるとともに「西小と西小での日々」を子ども達の心に残るものとしていき、「楽しい学校」づくりにつなげていく。

全ての学校行事で「めあて」を重視した指導を行うことで、集団(学級集団・全校集団)を育てるとともに、一人ひとりの子供を成長させる。(ここの「ねらい」と「めあて」「ねらい」…学校(教師側)として持っているもの。「めあて」…子供側からのもの)

- ①「子供の何を成長させるのか。なんのためにやるのか」を明確にした「ねらい」
- ②「ねらい」具現化のための手立ての明確化
- ③子供と「めあて」を共有する。
- ④全体の「ねらい」を踏まえて、学年(学級)としては、どんな指導をするか明確にする。

## (5) 小小連携及び小中一貫教育の推進

再編を踏まえた小小連携の教育活動を通して子ども達を成長させるとともに、子ども達がスムーズに国小及び国小児童になじんでいけるようにする。また、国中・国小・国西小の3校で、連携・協力して研究を進め、義務教育9年間を通じた教育課程編成及び実施に努める。

## (6) 小規模校としての強みを活かす。 (★「めざす児童像」3つに関連)

- ①個に応じたきめ細やかな学習指導と生活指導
- ②少人数であることを生かすことでより効果を高めることが期待できる教育活動の実施  
(校内放送体験(言語活動)他)
- ③各種行事や児童会活動及び各種の班活動等を通じて意図的に全ての児童生徒に様々な活躍の場を経験させる。
- ④隣接学年のみならず、学校全体での異年齢活動や多様な人との交流・活動等を年間を通じて計画的に実施する。(全校なかよし体験活動、縦割り班活動、縦割り班のランチルーム給食、宿泊学習、校外学習、まほろばの里訪問、他)

## (7) 外遊びと体力の向上を図る教育活動の確保 (★進んで運動し、元気にあいさつできる子供)

- ①登校直後に校庭を走る。
- ②業間や昼休み等の積極的な外遊び
- ③授業での運動量確保(体づくり運動等)
- ④持久走記録会・縄跳び大会その他に積極的に取り組ませる指導の工夫

## (8) 地域に根ざした教育の充実 (★「めざす児童像」3つに関連)

### ①「ふるさと学習」の実施

地域であるふるさと【郷土】の自然や伝統・文化を正しく知り、その価値を認識して誇りをもつことができるように、さまざまな教育活動を意図的・計画的に実践する。

- ②出前授業等、外部人材を積極的に活用する。
- ③学習面以外でも、積極的に地域連携を進めていく。

## 【 学 校 経 営 に 関 す る 重 点 事 項 】

## (9) 教職員の資質の向上 (確かな指導力・豊かな人権感覚・コミュニケーション力)

### ①授業力・学級経営力の向上と工夫改善

ア S&Uコラボ授業公開及び要請訪問等の授業に対する全校体制による指導案検討

イ 上記の公開授業の他に一人1授業を校内で公開

ウ 授業・配慮児・学級経営等、情報交換及び指導等について互いに相談し合う。

### ②「認める・ほめる」指導による教師自身の人権感覚の向上と指導力の向上

子供への「認める・ほめる」指導で、子供の「やる気」と「自信」を育て、教師自身の人権感覚を向上させる。また、「だめなものはだめ」という凛とした指導と「認める・ほめる」指導を表裏一体として指導できる指導力のある教職員を育てる。

### ③保護者、地域の方へのあいさつとコミュニケーション

教職員の方から積極的に保護者や地域の方にあいさつし、話しかける。あいさつとコミュニケーションは、地域連携の基盤であり、信頼される学校の基盤でもある。

## (10) チームとしての学校づくり

### ①共有ビジョンの形成と具現化

学校として、何をどうしていくかというビジョンを全員で共有し、全職員で具現化に向けて努力する。また、全教職員が進むべき方向性を1つにして、指導を徹底していく。

### ②互いのよさを認め高め合う。

互いのよさを認め、それを口に出して伝え合うことで、職員の「やる気」と「自信」を高め、さらに努力していく雰囲気在校内に醸成する。

### ③「報・連・相・確」と組織的対応

情報の共有を通じて、個人ではなくチームとして最善の方法を考え出したり、問題を未然に防いだり大きくならないようにしたりする。また、配慮児指導等も担任一人ではなく、組織的に行う。

### ④「気配り・目配り・声かけ そして動く」

お互いに「気配り・目配り・声かけ そして動く」ことで、学校としてのミスがなくすとともに、よりよいものにしていく。

### ⑤小規模校の人手不足・多忙の軽減

隙間仕事を自分から進んで行う姿勢を全職員がもつことで、小規模校の人手不足・多忙を軽減する。

## 7 参考事項

### (1) 児童の実態と保護者・地域の実態

#### ①児童の実態

プラスの要素：純朴・素直・優しい 縦の関係が自然にできている 出前授業、校外活動などで積極的に挙手・発言 まじめに働く

課題的要素：小規模校であるため、大人数の前に出ると初対面では控えめな時もある。

#### ②保護者・地域の実態

- ・豊かな自然(田圃、河川)・歴史的資源(国分寺跡ほか)、文化的施設(風土記の丘資料館、埋蔵文化センター)に恵まれている。農村地帯であり、人口の流入・流出は少ない。
- ・保護者・地域ともに、学校教育に協力的であり、関心を持っている方が多い。入学式、卒業式等に地域の方の出席率が高い。

### (2) 児童数の推移 (減少傾向にある)

年度	12	13	14	15	16	17	18	19	20
児童数	104	100	92	97	93	92	89	85	89

21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
89	79	70	70	62	49	45	33	32	34